

狭山エリア新聞

【問合せ先】ASA狭山
 Tel: 04-2952-2246
 【発行所】狭山エリア新聞編集室
 Tel: 049-265-1886
 Fax: 049-265-1887
 【記事提供】狭山CATV

徳島県 勝浦川の水きれいにする会 不老川視察

6月24日(木)、勝浦川の水をきれいにする会の正副会長ら4名が、不老川の視察に訪れました。

勝浦川は、徳島県を流れる2級河川で県内で3番目に大きく、名物のアユ釣りには、阪神方面から多くの人が



訪れることで有名な川です。

およそ24年前、ダムが建設されたことをきっかけに汚濁がすすみ、20年前同会が発足、以前の清流をよみがえらせたいと活動を続けています。

今回は、不老川の官民一体となった取り組みを参考とするため訪れました。

一行ははじめに不老荘前の下水処理水の還流状況を視察、不老川をきれいにする会の新井会長から会発足の経緯、市民活動の取り組み、国・県・市と行政への要望活動などについて説明を受けました。

調整施設などの説明も受けました。

続いて、不老川の支流である林川の浄化施設について、県職員から説明を受けました。

職員は、県の清流ルネッサンス21運動について、東京都から各市にまたがり流れる不老川について、その支流の浄化の必要性について話しました。

勝浦川の水をきれいにする会副会長は「会を結成して、20年あまり運動を続けています。こちらが優れた浄化をやっているということ、おじゃまさせてもらいました。これから、こちらを参考にしたいところから運動を力強く

「スタートぜよ みんなのきずな 台小まつり」

このテーマは、4年生と6年生の各クラスで出された案の中で多かった「みんな」の「絆」という言葉に、今年流行の「龍馬」をアレンジしたのになっっています。

また同校はこの春、狭山台北小

6月22日(火)、狭山台小学校で「台小まつり」が開催されました。

これは異年齢集団の活動を通じ、望ましい人間関係や社会性を育て、発達段階に応じた自主性・実践力を育てることを目的に行われています。

今年のテーマは「スタートぜよ みんなのきずな 台小まつり」。

この日は、校庭や、体育館を使って主に、廃材を使ったゲームなどの出店が並び、約2時間の開催時間の中で、児童達はまつりを楽しみました。

また、工房・夢来夢来による公開バザーが開かれました。

同施設は狭山台小学校を活動拠点に障害者とボランティアが作品制作などを通じて交流をはかり活動しています。会場には障害者・ボランティアによるバック・アクセサリー・スツール等手作りの作品、約30種類が並びました。この日は、多くの保護者が訪れ交流を深めました。



盛りあげていきたいです。こういう施設をみせてもらったということ、参考にになりました。

鮎が美味しいと有名な川なんです、これを昔の状態にもどしたというのが私達の夢なんです」と話しました。

インターネット安全教室

6月19日(土)、狭山市立中央児童館で「インターネット安全教室」が行われました。

これは子どもたちがインターネットを安全に使うための知識やマナーを学ぶことを目的に開催されたもので、同児童館では初めての試みです。

この日は小学生17名が参加、講師は、子ども向けのワークショップを全国で行っているNPO法人CANVASから2名が来館しました。

はじめに講師がパソコンを触ったことがあるか確認すると、全員が手を上げました。

続いて、インターネットの「ネット」は「網」という意味で、このインターネットによって



た。

不老川の活動は昨年は緑綬褒章も受賞し、またNHKをはじめ、マスコミにも広く取り上げられていることから全国で川の浄化活動を行っている団体が視察に訪れています。

世界は繋がっていると説明。その他、「ブログ」や「ホームページ」などインターネットに関する言葉や、ウイルスなどインターネット上の危険がイラストを使ってわかりやすく説明されました。

続いて、子どもたちはパソコンを使ってゲームをしました。

このゲームでは、インターネットを安全に使用するためのクイズに答え、正解すると一文ずつ暗号が現れるといったもので、5問全て正解し暗号が揃うと、講師から安全免許証が渡されます。

クイズは、楽しみながらインターネットに関する正しい知識を身につけられるようになっています。

講師は、子どもたちはペアを組んだ仲間や職員と相談しながら問題を解き、全員が安全免許証を取得しました。

この免許証には、「知らない人に住所や電話番号を教えないこと」「悪口やうわさ話を書いたり、送ったりしないこと」「ゲームやソフトを内緒でダウンロードしないこと」「大人

第18回あじさい祭り 第21回国際交流の集い

6月20日(日)、新狭山中原公園で「第18回あじさい祭り」並びに「第21回国際交流の集い」が行われました。

主催はあじさい祭り実行委員会、地元自治会や国際交流協会、教育機関等の共催で開催されました。

このイベントは当初、新狭山公民館で狭山市国際交流協会が日本語教室を開いたことから平成2年に「国際親善の集い」として始まり、その後、平成5年に地域で暮らす外国人と地域住民の交流を図りながら地域活性化を推進しようと名称を現在のものに改め、今では地域ぐるみのイベントとして定着しています。

新狭山幼稚園の園児達のお遊戯や、狭山けやき会の太鼓や踊りなど、12団体のアトラクションや、会場内には国際交流の模擬店や、地元自治会の模擬店等が並び、会場には約7000人が訪れました。

新狭山中原公園には



約2千500株の紫陽花が植えられています。紫陽花サポーター隊の20名の皆さんが年間を通して、管理しています。

また、同日、西武文理バスターミナルと田口酒店の間の路上を歩行者天国にし「新狭山にこにこ市」も開催されました。

この市は平成21年から開催されており、今年度からは毎月第3日曜日に開催されています。

今回は、あじさい祭りと国際交流の集いが行われていたことから、普段よりもさらに賑わいを見せていました。

向きのホームページを見ないこと」「パソコンを使うときは大人に安全かどうか聞くこと」の安全5か条が書かれています。次に、プロジェクターを使って携帯電話の使い方や学びました。

これは主人公が母親に頼まれて、電車に乗って本を買いに行くとい

うシミュレーション形式になっており、子どもたちは物語の進行と共に、電車内での携帯電話の取り扱いや、デジタル万引きについてなど、携帯電話に関する正しい使い方を学びました。

最後に今回の学習を集めた冊子が手渡され、講習は終了しました。